

『ドローン × リモセン』 シンポジウム

ドローン業界は、「空の産業革命に向けたロードマップ」の2020年のレベル4(有人地帯での目視外飛行)の実現に向けて、災害対応、物流、インフラ維持管理、測量、農林水産業等の多くの利用用途での活躍が期待されている。これら分野でのドローンの普及には、リモートセンシングの技術が欠かせなく、衛星・航空機分野で蓄積されたリモートセンシングの実績を有効活用することが重要である。そこで、本ワークショップでは、ドローンとリモートセンシングの両分野の技術者・事業者が一同に会し、技術動向を共有することで、更なる産業発展を目指す機会とする。ドローンは利用しているが、撮影した画像の分析方法が分からない方、衛星データは利用しているが、これからドローンの利用を検討されている事業者等、是非とも参加をご検討ください。

1. 日程：10月27日(金) <受付>13:00~13:30 13:30~19:30 (※懇親会を含む)
2. 場所：学士会館 320号室
(東京都千代田区神田錦町3-28(「神保町」駅下車A9出口から徒歩1分))
3. 参加費：無料(※懇親会は4,000円)
4. 定員：150名
5. 主催：(一社)日本ドローンコンソーシアム(JDC)
共催：(一社)日本リモートセンシング学会(RSSJ)・地球観測ビジネスコミュニティ(BizEarth)
6. プログラム(司会：産業技術総合研究所 岩田拓也)
 - 13:30 【特別講演】産業界でのドローンの動向 JDC 会長 野波健蔵
 - 14:30 【主催・共催機関の紹介】
 - (一社)日本ドローンコンソーシアムの紹介 JDC 事務局長 酒井学雄
 - (一社)日本リモートセンシング学会の紹介 RSSJ 監事 福田徹
 - 地球観測ビジネスコミュニティ(BizEarth)の紹介 BizEarth 幹事代表 新井邦彦
 - 【休憩】
 - 15:15 【リモセン分野からの事例等紹介】
 - 農業・生態系分野 農研機構 井上吉雄(RSSJ)
 - 海洋・湖沼分野 東京大学 沖一雄(RSSJ)
 - 国土管理・防災分野 茨城大学 桑原祐史(RSSJ)
 - 「Drone2Map for ArcGIS を用いた高解像度オルソ画像生成とセンシング利用」
ESRI ジャパン 橋本未来(BizEarth)
 - 【ドローン分野からの事例等紹介】
 - 「マルチスペクトルセンサーを用いた、水田及び畑作の観測事例と今後の可能性」
京都大学/SkyLink 渡辺一生(JDC)
 - 16:30 パネルディスカッション：ドローン×リモセンの可能性
進行役：(一社)日本ドローンコンソーシアム エンルートラボ 伊豆智幸
パネリスト：RSSJ(農業・生態系分野) 農研機構 井上吉雄
RSSJ(海洋・湖沼分野) 東京大学 沖一雄
RSSJ(国土管理・防災分野) 茨城大学 桑原祐史
BizEarth 国際航業 新井邦彦
JDC 京都大学/SkyLink 渡辺一生
 - 17:30 懇親会
7. CPDについて：リモートセンシング学会 CPD(3ポイント)、測量系 CPD(3ポイント)が発行可能です。CPD発行の希望者は、申込み時時にCPDの希望をご連絡ください。
8. 申し込み・問合せ先：event2017@jdc.or.jp(事務局)
※参加者の所属、氏名、会員/非会員、懇親会への参加の可否をご連絡頂けますようお願い致します。
9. 申し込み期限：10月25日(水)